

愛知県花き振興計画の概要

＜本県花きを巡る状況＞

○花き産出額は621億円(H25:切り花等571億円、花木等49億円)。ピークである平成10年の897億円の約69%。切り花等は昭和37年から産出額で連続日本一を誇る「花の王国あいち」。＜出典:花木等生産状況調査＞

年		H10	H21	H22	H23	H24	H25
産出額 (億円)	合計	897	604	587	577	608	621
	切り花等	763	554	533	526	559	571
	花木等	134	52	56	51	49	49

○花きの栽培面積は2,547ha(切り花等2,047ha、花木等500ha)で、ピークである平成17年の3,034haの約84%。＜出典:花木等生産状況調査＞
 ○生産者数は3,378名(H25)で、他の作物と比較して新規就農者が多いが、生産者数は年々減少。＜出典:花き生産実績＞
 ○切り花、鉢物とも多種多様な品目が生産され、施設栽培による安定的・計画的な栽培により市場での評価は高い。
 ○試験研究と生産者が連携を図り、品質・生産性向上のための新技術の開発及び新品種開発を展開。
 ○卸売市場を中心に本県産花きのテスト的な輸出が始まっているが、検疫や流通コストの問題等により輸出額は11,782千円(H26)。

＜園芸農産課聞き取り＞

品目	年	数量	金額	輸出先
切り花類	H26	39,385本	8,700千円	アメリカ、カナダ等
鉢もの類	H26	11,415鉢	3,082千円	香港、シンガポール

○1世帯当たりの切り花の年間購入額で、名古屋市は全国第27位(H27)と全国の中位。園芸品・園芸用品では全国38位。＜出典:家計調査年報＞

切り花の年間支出金額		園芸品・同用品の年間支出金額	
1位 福島市	16,337円	1位 和歌山市	12,466円
2位 秋田市	14,396円	2位 高松市	11,980円
・	・	・	・
27位 名古屋市	8,476円	38位 名古屋市	4,800円

○花には産地表示義務がないことなどから、県民の「花の王国あいち」に対する認知度は12.7%(H27)。＜出典:県政世論調査＞
 ○日常生活で花を取り入れている人は62.6%(H27)であり、若年層ほどこの割合が低い。＜出典:県政世論調査＞
 ○年1回以上花を購入している人は平成25年の調査では76.1%であったが、平成27年は82.5%(H27)と6.4ポイント増加。＜出典:県政世論調査＞

生産・技術・流通・輸出

文化・需要

＜主な施策の方向＞

花き産業の振興 ～花の王国あいちを支える～

＜生産者の経営の安定＞

- 担い手の確保・育成と生産者組織の育成強化
- 環境制御技術の導入や規模拡大の推進
- 知的財産の適切な保護及び活用

＜生産性及び品質の向上の促進＞

- ICTを活用した生産技術等の開発・普及
- 付加価値の高い新品種の開発・導入
- 日持ち性向上のためのコールドチェーンシステムの構築や流通コストの低減
- 県が開発した新品種等の供給体制の強化

＜輸出の促進＞

- 見本市、バイヤーとの情報交換会等の開催
- 国際園芸博覧会への出展
- 輸送コスト低減や鮮度保持技術の開発・改善

＜気候変動及び環境に配慮した適応策＞

- 新たな適応品種や栽培環境の改善技術の開発



花のある暮らしづくりの推進 ～花の王国あいちを拓げる～

＜日常生活における花文化の定着＞

- 「花いっぱい県民運動」の推進
- フラワーバレンタイン、パートナーズデー など新たな花贈り文化の普及
- 地域の伝統的な花や花文化の普及

＜公共施設及びまちづくり等における花きの活用＞

- 中部国際空港などで花によるおもてなし
- 病院等における花きの活用

＜花きを活用した教育などの推進＞

- 小学校等における花育の推進
- フラワー・ブラボー・コンクールや全国花のまちづくりコンクールの推進

＜イベントにおける花きの活用の促進等＞

- 県民参加型のイベント、ガーデニングショーなどの開催
- 全国植樹祭や東京オリンピックなどでの花きの活用の推進



日本一にふさわしい花き産業の発展と花のある暮らしをめざして

「花の王国あいち」の目標 (目標年度2020年度(平成32年度))

- 花き産出額 823億円 (うち 切り花等 774億円、花木等 49億円)
- 輸出額 2億円
- 「花の王国あいち」の認知度 25%

